

事務事業名 公営住宅等長寿命化計画事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1725

施 策：	12	セーフティネットの推進	財務コード	01070601-04-764
基本事業：	05	市営住宅の維持管理	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	市営住宅に関する事故件数 市営住宅料金徴収率		担当課	管財課
			担当係	管財担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~			新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	○	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
管財課所管の市営住宅				安全で快適な住まいを長期的に確保するために筑紫野市公営住宅等長寿命化計画に基づき修繕及び改善を行う。						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
計画的に修繕及び改善を行うことにより長期的に施設の使用継続を図る										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
維持管理件数			件		115	140	140			100
5．コスト										
事業費		計	千円	0	36,926	111,296	24,034			
		国	千円	0	12,584	52,832	10,815			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	29,232	6,609			
		一般	千円	0	24,342	29,232	6,610			
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1	0.1			
正職員人件費			千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	773	37,708	112,098	24,034			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている		引き続き大規模な修繕を行うことにより、補修費の削減及び苦情件数が減少する見込みである。								
●どちらかといえばあがっている										
○あがっていない（停滞・低下）										
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	<課題> 既存ストックの「質」の確保 老朽化した住宅の安全・安心の確保 高齢者や生活弱者への安全で安心な住宅を提供する 地域の実情に合わせて受託の必要性を検討する						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	大きい									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
公営住宅等長寿命化計画により計画的に実施する										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄						
更新期を迎えつつある老朽化した公営住宅のストックを効率的かつ円滑に更新を行い、公営住宅の需要に的確に対応するため				はす町住宅において井戸ポンプの経年劣化の兆候が見られたので井戸ポンプ交換を行ったが、井戸最深部内壁の崩落が原因による一時的な事案と推測されるため、引き続き注視していく。						